

「庄内町立小中学校再編整備実施計画」地域説明会（余目地域） 議事録

日時：令和 7 年 4 月 22 日 午後 7 時～午後 9 時 30 分

場所：役場 B 棟 3 階 大会議室

<参加者>

住 民 等：53 名

報道関係者：2 名（山形新聞、荘内日報）

教育委員会：12 名

佐藤教育長、齊藤雅子教育委員、清野教育課長、
菅原課長補佐兼学校再編整備室室長、齋藤指導主事、本間指導主事、
池田教育総務係長、長谷部学校教育係長、齋藤教育施設係長、
阿部学校教育係主査、佐々木学校教育係専門員、山科学校再編整備室主事

<質疑応答>

質問 1・2

質問者 第二学区 男性

いろいろあるけども、一番根っことして考えなければならないのはなんだろうかということ。私は、学校というものをどんなものとして捉えるのかということが、根本の課題としてあると思う。学校というのは「かけがえのない地域づくりの中心」と捉えている。そういう点から質問したいことは、前に立谷沢中学校、立谷沢小学校、清川小学校などは廃校になっているが、学校がなくなってどうなったかということを立て谷沢地区とか清川地区から、なにか汲み上げることとはしたか。それから、今まであったところから学校がなくなる。そういう地域で、地域の人たちの声を汲み取るということをしたか。

質問者 第三学区 男性

町民ということで、どのような形で選ばれたのか（検討委員会の委員について）。その応募した人がどんな人なのか。それから保護者とか教員のみなさんからのアンケート結果があると。でも、やはり一番影響を受けるのは立谷沢地区だと思う。そういう人たちの意見をどのような形で今回の計画に取り入れたか。現状でも通っている人がいる。それがさらに長くなる。実際通っている人たちはアンケートには出せないかもしれないけど、どのように大変か、どうしてほしいかなど、そういうことに配慮すべき。今は人口も少なくなっている。多くの人だけの意見が尊重されて、少数人数の意見がほとんど取り入れられない。だけど、やっぱり尊重しなければならないわけである。地域自体が、距離が遠いということになる。住みやすくするためにとか、通いやすくするためにとか。47 号線が高規格道路になるが、まだまだである。じゃあ、いまトンネルだとかをやっておいて、なるべく通学時間をいかにして短くするか。そういうところにも働きかけないとダメだろうし、やっぱり町ばかりで検討したってダメなわけである。

これはある団体の調査だが、隣の三川町は現状で小学校が3校ある。人口自体は、庄内町は1万9千人、三川町は8千人。世帯数も庄内町は7千世帯、三川町は3千世帯である。でも、今でも3校でやっている。三川町は山形県の形からすると目の位置にあり、狭くて通いやすい。ところが、庄内町は眉毛みたいな感じで細長くて距離がある。簡単に通えない。そういう実情もある。これだと、ますます遠いところには誰も住まなくなり、限界集落になる。そうなるとう当然、庄内町全体として人口が減ってくる。だからある程度、先ほど言われた方のように、実際学校というものは子どもたちのこれから一番大事なことだと思うし、地域が集まるための、行事等で盛り上げるための一つの施設だと思う。そういうところを重視してほしい。

あとは現状の建物。余目地域は1つで十分だと思う。でも一番問題なのは立川地域、立谷沢地区である。であれば、学校はそのまま維持するような形にして、経費などいろいろなことはあると思うが、授業については通学時間などを考えて、それぞれの学校でやらないうとダメだとは思いうが、道徳や全体のものは学校毎にいろいろな行事などがあると思うが、それを今のICT、ビデオなどを利用してできないのか。それを検討されたのか。子どもの意見、困っている人の意見はどの程度反映されたのか。

回答者	教育長
-----	-----

学校についてどのような捉え方をしているのかについて。学校は地域づくりの中心だという話がありました。まず大きく4点あると思う。

①地域の社会の一員であるということを感じできる子どもということで、地域づくりがあると思う。②目標に向かって主体的に学べる子どもを育てるのも学校である。③多様な価値を認めて共に一緒に生活できる子どもを育てるところも学校である。④困ったことがあっても困難を乗り越えられるような子ども、それを学ぶのも学校だと思う。

回答者	教育課長
-----	------

清川地区、立谷沢地区の意見をどのように汲み取ったかという質問があったが、これまで町民向け、保護者向け、教員向けのアンケートを行うことにより地域から満遍なくいただいた。その結果が今日お配りしたアンケート結果である。これをご覧いただくと、保護者や教員がどういうことを望んでいるのかがわかると思う。この後の説明にも関連してくるところだが、「多様な意見を交わし合うような教育環境が望ましい」ということや、「複数学級が望ましい」という意見、また、「統合のタイミングとしては1学年10名程度になったら最終的に1校になるのが望ましい」という回答が多かった。そのような、みなさまからのアンケート結果を基にして、このような方針、計画に結び付いたということでご理解いただきたい。また、令和6年度に実施した検討委員会についても町内各地域から満遍なく委員を選出して、立川地域の方の意見も反映できるような形で検討委員会は開催している。公募の方は立谷沢地区の方であった。検討委員会の意見も決してどこかに偏っているのではないということで、ご理解をいただきたい。

また、通学時間が長くなるということであるが、事務局としては、スクールバスの通学は最長40分程度かかるのではないかとということで試算している。通学方法についても、

途中でトイレ休憩を設けるなどして、また、できるだけ途中で停まることなくして、直行便のような形で通学する方法、または始業時間を考慮することなども検討していきたいと考えている。

質問 3

質問者 第四学区 男性

今日のような説明会を、委員会で決定をする前にした方がよかったと思う。各学区、これでよいですかと聞いてから決定したほうがよかったのではないかな。突然 1 月 30 日の山形新聞で決定の記事を読み、びっくりした。これで本当によいのかどうなのかというのを私なりに考えてみた。適正規模、適正配置としていることに問題があるのではないかなと思う。児童生徒数の減少のみを理由にして学校を廃校する自治体も増えているが、そもそも小さい学校に問題があるのでしょうか。小さい学校だと切磋琢磨できないのでしょうか。社会性は育たないのでしょうか。競争力がつかないのでしょうか。果たして本当にそうでしょうか。そういう風に言われるとそう思ってしまいますが、そういう研究結果とか実践報告というのは、どこにもありません。聞いたこともありません。大きい学校になると学力が上がるとか、立派な子ができるとか、そういうことは聞いたことがありません。逆に一人ひとりを育てることから言えば、小さな学校にも優れた実践がたくさんある。そして、日本にはたくさんの小中学校があるが、小学校は全校で 6 学級が一番多い。中学校は 3 学級が一番多い。学年 1 学級の学校が一番多い。世界で一番学力が高いと言われているフィンランドでは、1 クラス 20 人は超えません。超さないようにしている。それから、国連で学校規模について勧告している。それによると全校生徒が 100 人を上回らない規模を勧告している。100 人を上回ると子ども一人ひとりに力につけられないからである。そういうことで言うと、今の庄内町の小学校はちょうどよい規模だと言える。一人ひとり子どもを育てるという観点で言うと、今の規模がよい。それを無理して統合することにしてよいのか。統合してよいことはなにかと言うと、町の財政面。子どものためではない。

旧立川町から学校がなくなってよいのか。スクールバスが中村から 40 分で着くのか疑問である。時速 60km 以上で走れば、多分着くが。冬はもっと時間がかかる。中村から余目まで、別の言い方で言うと、旧朝日村の大網から、旧朝日村を越して、旧櫛引町を越して、旧羽黒町を越して、旧藤島町まで行くとだいたい同じくらい。(※Google マップの計測では約 30km) そうなので鶴岡市民は納得するかどうか。鶴岡も統合したが、旧町村を跨いだ統合はない。もし行うとしたら、すごい問題になると思う。やっぱり子どもたちのためにはならない。

スクールバスに何十分も乗ると、小学校の低学年・中学年の子どもは眠くて仕方ないと思う。1 時間目の始まりは眠い。授業に集中できない。1 時間目は体育などで目覚めさせてから 5 教科の授業をしたほうがよいと思う。非常に難しい問題だが、本当に一人ひとりの子どもを大事にするとしたら、子どもが減ったから 1 つに統合するというのは、果

たしてよいのかどうか。これは 50 年、100 年に 1 回あるかどうかの大きな問題なので、後々後悔することがないようにしてほしい。	
回答者	教育課長
児童数の減少も大きな課題ではあるが、余目の一小～三小の校舎が築 60 年以上経過して老朽化しているという問題もある。いずれにしても新しい小学校を建てなければならないという状況にある。このことが最終的に 5 つの学校を統合ということに結び付いたということでご理解いただきたい。 子どもたちの長時間の乗車については、午前中の学校のカリキュラム等についても検討して対応する必要があると考えている。	

質問 4	
質問者	第二学区 男性
建物の話が合ったが、地元産の木造で 100 年もつ校舎はできないものか。コンクリートは 20 年で一番固くなって、そのあと脆くなる。なので、コンクリートだと 60 年経つと古くなって脆くなっていく。日本のコンクリートはそういうふうにできている。木造平屋でよいと思う。丈夫な校舎、100 年もつ校舎を造って、大きいクラスではなく、先生の目が届くような、小さくても仲良く勉強できる、そういうクラスを作ってもらいたい。	
回答者	課長補佐
木造建築にするかどうかは、これから学校整備を計画する段階で決めたいと思う。コンクリートの校舎については、80 年くらいが限度ということで、通常だと 40 年経過したときに補修工事をして 80 年もたせるというのが今の流れである。今、一小～三小は築 60 年ということで、これから 10 年経つと築 70 年ということになり、それから改修するとなれば費用的にもかかると感じている。また、アンケートでは、ほとんどの方から統合して集中的に建設したほうがよいという回答結果がある。町民のみなさまは、分散するというよりは、集中的に建設を進めるべきという意見のほうが多かったということで、教育課としては認識している。検討委員会でも、そのような形で議論を進めていったということである。	

質問 5	
質問者	(学区不明) 男性
小中学校が統合したら、在校生は転入ということだったが、転入の手続きが必要になるという理解でよいか。	
回答者	指導主事
書類上は転入ということになるが、特にそのことで手続きは必要ないのではないかと 思う。今後、その辺も確認して、なるべく保護者の負担がないように検討していきたい。	

質問 6	
質問者	第三学区 男性
決定に至るまでということで、まずはアンケートが小出しですね。期間が短いということは、先ほどの理由で、余目の小学校の校舎の耐用年数が一番メインみたいな感じだが、それが各地区の代表ということでいろいろ聞いているようだが、本当に反対の意見だとか、少人数だとしても残してもらいたいとか、2つにしてもらいたいという意見はなかったのか。三川町で8千人、庄内町は令和32年でもまだ1万人はいる。これから20年ほど経った段階でも3校は残っているという感じになる。なにが違うのか。学校の校舎が問題なのか、それとも学級の人数からなのか、そうすると経費がかかるのかあるのか。いろいろ検討はされていると思うが、そういったことも検討したのか。 また、議会から反対意見はなかったのか。議員がどのように感じて、庄内町をどのような形に持っていきたいか。今のままだと何もなくなっていく。それでは他の地域と同じである。この地域をどのように良くしようかとか、盛り上げていくのか。それに逆行するような考えで、もう決定した。あまりにも早すぎる。大変になる人、一人ひとりの意見を聞き取ったのかどうか。通学時間について、大変だという気持ちを理解してもらいたい。少数意見はどの程度反映されるのか。これからのことも含めてお聞きしたい。	
回答者	教育課長
三川町の例を出していただいたが、子どもは減少してきているのは同じだと思う。表立った検討はしているかどうかかわからないが、同じような検討はこれからされるのではないかと思う。地域の意見を聞き取ったのかということだが、検討委員会の中には立谷沢地区の方も複数名いたし、保護者としてご発言いただいた方の中には「今後2校になったとしても短期間でまた統合するのであれば、子どもの負担になるのではないか」という意見もあった。配布した資料を見ていただくと、立小が統合しないで1校のみで残った場合は、5年生6年生は14人15人いるが、その下は児童数が10人程度以下となる。1学年10人程度ということで、統合のタイミングの数字に近くなってきているということがある。保護者のみなさまが希望しているというアンケート結果も十分尊重させていただいた。 地域から学校がなくなる、地域が衰退するのではないかというご心配をされるのは、もっともなことだと思う。教育委員会だけでどうこうできる問題ではないため、町としてこういった活性化策ができるかということを十分考えていかなければならないと思っている。 議会に対しては、年4回の定例会以外の全員協議会で報告する機会があり、検討委員会の進捗状況は報告してきた。11月の全員協議会では、2校より1校が有力であることや、響ホール北側が候補地として有力である状況は報告した。また、3月定例会では、多くの議員の方から、「今まで説明が不足だったのではないか」「地域住民の声を十分拾えたのか」という意見をいただいた。計画としては1月の末に決定させていただいたが、今	

回このように説明会を開催させていただいているという状況である。	
回答者	教育長
子どもたちの気持ちという話があった。アンケートに記載のあった意見として「行事や集団での学習活動などが大人数でダイナミックになり、達成感や教育効果が得られやすい」という意見もあった。複数学級がよいとした理由の中には「子どもの人数が減少してクラス替えもなく、義務教育期間ずっと同じ環境で過ごしている。特に思春期の時期においては、友達関係で躓くこともあり、クラス替えがあると頑張れるところもあるが、クラス替えがないとそれを引きずって、不登校などの問題行動につながる心配もある。早期に統合してはどうか」という意見も保護者から出ていた。	

質問 7	
質問者	第一学区 保護者 女性
統合することに賛成。娘が中学校になるときに、たくさんの人数で学べるのがよいと思う。1 学級は少人数でクラスがたくさんあった方がよい。少人数学級でも先生を 2 人つけるなどして手厚く見てもらえるのがよいと思う。検討いただきたい。 使わなくなった施設について、今後検討していくと思うが、壊すだけでなく、宿泊施設など、もっと活用できればよいのではないかと思います。 余目地域に小学校が建ち、立川地域の人は遠くなると思うが、酒田などで徒歩 1 時間とか 45 分で学校に行くという話も聞くので、バスが出るだけありがたいと思う。様々な意見があると思うが、新しくなるのはよいと思う。強いて言えば、中学校も新しく建ててほしい。	
回答者	教育課長
今後の利活用については、今いただいたような意見も大切にしながら検討していく。	
回答者	指導主事
1 クラスの人数について。町立の学校であるが、教職員は山形県で給与を負担している。その関係から、学級の人数については、国の制度に加え、山形県独自の少人数学級制度である「さんさんプラン」がある。令和 7 年度の時点では、小学校は「35 人までは 1 学級、36～66 人までが 2 学級、67～99 人までが 3 学級」、中学校は「40 人までは 1 学級、41～66 人までが 2 学級、67～99 人までが 3 学級」となっている。今の児童生徒数でいくと統合した小学校では 3 学級になることが予想される。学年にもよるが、一小～三小ではギリギリ 2 クラスにならない学年もあることから、学校全体の規模は大きくなるが、1 学級の人数で見ると少ない人数になる場合もある。また、その学級数によって教職員の数が決まっており、その分が給与として支給されている。 少人数での指導を手厚くという話があったが、県費の職員が正職員とはなるが、庄内町では現在、「学校教育支援員」を町の負担で小中合わせて 25 名配置し、手厚く指導できるようにしている。新しい学校についても、今のような意見を踏まえて、町でできる支援	

を検討していきたい。	
回答者	学校教育係長
今年度のスクールバスの運行状況や通学時間について。四小については、30 分程度、各集落を回って通っている。立小については、立中と同じであるが、一番遠いところで工藤沢から 32 分程度かかる。現在でも 30 分以上かかっている状況である。学校を統合した場合、なるべく時間がかからないようにということで、直行便などでまっすぐ学校に行けるような対策をしながら時間短縮できるように考えていきたい。徒歩通学で 30 分以上かかる児童は、徒歩通学全体の約 45%程度いる。冬期間はもう少し時間がかかるかもしれない。徒歩通学で最長は 50 分、平均では約 20～30 分かかっている。	

質問 8	
質問者	第一学区 男性
4 つの問題点がある。 ①通学距離の問題。30 分程度という文言があるが、統合小学校ができたとき、瀬場、工藤沢などからは 30 分では到底到着しない。どんな優秀なバスでも 1 時間はかかるのではないかと思う。この辺をどう考えているのか。分校があった時代があるが、分校や寄宿舎などを造って対応するなど考えているか。 ②児童生徒数の問題。余目中で 50 人の学級だったが、朝日中で 1 学級 30 人未満の学校に転勤したことがあった。教室の空気が一変したことを覚えている。学級の人数というのは大きな問題である。どのように考えているか。 ③学校と地域との関わりの問題。特色ある学校、例えば太鼓打ちが素晴らしいなど、そういう学校はすべて小規模の小中学校だった。技の伝統が何年もかけてできあがるといった、地域で学校を変えるしくみができたというのが、小規模校の成果と言えた。地域に長い伝統が息づいていて、その目に見えない力が作用して子どもたちを動かしていく。それが大きな学校の力、地域の力ではないか。そうした観点から統廃合を考える視点が必要なのではないか。 ④教育委員会の発表の仕方は、大いに問題がある。住民の声に本気で耳を傾けたのか。通学距離の問題はだれでも言い続けるはず。できてしまってから、問題が発生してから取り返そうとしても、後の祭りである。不登校の生徒が増発することは目に見えている。手遅れにならないうちに手立てするべき。幅広い観点から再度検討を加えることが必要と思う。	
回答者	教育課長
通学距離に関しては先ほども説明したが、30 分程度というのは現在でも厳しい状況である。最長 50 分歩いている子どももいる状況である。そういうことはできるだけ解消していかなければならない。寄宿舎や分校は考えていない。 クラスの人数については、先ほど指導主事が回答したとおりである。 地域との関わりということで、それぞれ伝統ある学校である。統合に向けて、どうい	

ことを大切にしていくなすべきかを十分聞き取りをしてつないでいきたい。

教育委員会の発表の仕方に問題があることについては、真摯に受け止めながら、今後丁寧に情報を発信していきたい。

質問 9

質問者 第一学区 保護者 男性

酒田市庁舎と余目庁舎の建設に関わった。立小・四小は築何年か。リフォームを考えなかったのか。建築費について 35 億円となっているが多分無理だと思う。他の自治体の例でも予定の額を大幅に超えている。多分、入札が不調になるので、この年度で開校できない。2 年くらい延長になるのではないかな。

回答者 課長補佐

四小は昭和 51 年建築で、48 年程度経過した。立小は昭和 48 年建築で、50 年近く経過した。リフォームを考えなかったかということだが、第一に、一小～三小の老朽化が進んでいたの、その対応をどうするかを初めに検討し、新しい学校を建設するということからスタートした。その後、四小・立小を含め、どうしたらよいかということを検討した。リフォームして使うとか増築して使うかなどの議論よりも先に、校舎を建設すること、そしてその校舎を利用して将来的にどう統合するかを検討した。四小・立小を増築してまでということは検討しなかった。

現在のところ、建築費は概算であり、7 年後のことなので、大幅に増額となる可能性もある。小規模な学校をいくつも建設するより、統合して建設したほうが経済的である。アンケートでも、集中的な校舎の建設を希望していたということで、このような算出をしているところである。

質問 10

質問者 第四学区 保護者 女性

子どもが特別支援学級で学んでいる。授業参観に行ったが、他のクラスは 45 分授業で学んでいるのに自分の子どものクラスは、先生が 1 人しかいないので、20 分授業して 5 分休憩し 20 分授業。そういったところも手厚くしてほしい。今後を見据えていくと、学校の数が増えれば増えた分お金がかかる。子どものことを考えれば、1 校で良い。自分も含めて、若い世代は地域と関わりが薄くなっている。親も祖父母も働いている。家族だけではなく地域からも支えてほしい。地域の応援が欲しいと思っている。

回答者 指導主事

特別支援学級の基準もある。全国的には障害種ごとに「全国では 9 人から 2 クラス」「山形県では 7 人から 2 クラス」ということで、山形県は少し手厚くなっているが、複数の学年が混在する学級になっているという現状がある。庄内町では「学校教育支援員」を配置しているが、6 人 1 クラスなどになっていると授業が難しいため、そちらにも人数

に応じて配置している。年度当初だとうまくいかないところもあるので、今後研修なども深めていきたい。特別支援学級の子どもは、それぞれの特性があるので、45 分続けて授業するだけでなく、その特性に応じて、また保護者の意見を聞きながら、より効果のある授業を行えるよう、統合前の段階から対応していきたい。

質問 11

質問者 第三学区 女性

庄内町に転入してきて 3 年が経った。説明を聞くと、学校統合の計画はずいぶん前から出ていたのだなと思った。この説明会に来ている方は保護者の方、地元の方などいろいろな方が参加していると思うが、その間、学校のことで何を考えてきたのかなと思う。私から見たら、町民全体がもう少し興味を持つべきだったのではないかな。庄内町がどうあってほしいのか、地元の人一人ひとりに想像していただく事が必要だった。町づくりのイメージをしてほしい。2 年前の地域説明会に参加したが、参加者が少なかった。インクルーシブ教育やこの町の特殊性というか、地域それぞれの良い伝統があるので、子どもたちの未来を考えたうえで探求心をつけてほしい。そのうえで庄内町がどういう希望を持って小学校を統合するに至ったのかということを考えていただきたい。

もう一つお願いがある。学童保育を小学校の敷地内に設けてほしい。親戚が余目新田にいる。土曜日は三学区まで送迎しなければいけない。人数が少なければいろいろな制約はかかるが、地域の応援も必要だ。統合は 7 年後ではあるが、まだ 7 年もかかるのかなと思う。保護者から見れば「もう 1 年でも早くできないのか」という意見もある。いろいろな意見はあると思うが、残していくための今回の計画なので、小学校が建設されてよかったとなるよう、子どもの未来、地域の伝統を引き継いでもらいたい。

自分は旧松山町出身だ。地見興屋小学校で 1 クラス十数人程度しかいなかった。そこから歩いて楯山まで花見の遠足に毎年行っていた。大変だったが良い思い出になっている。地域の応援があつてのこと。立小には金管バンドもある。響ホールを使って練習するなど検討していただきたい。これからより良い庄内町をみんなで作り上げてほしい。ワクワクしている。学校教育の質を上げてほしい。

回答者 教育課長

力強いご意見ありがとうございます。

質問 12

質問者 立谷沢地区 保護者 男性

保護者として発言する。廃校となった学校の活用を考えてほしい。通学の負担を減らしてほしい。立谷沢地区は小さいバスでよいので直行で行けるようにしてほしい。通学時間を短くしてほしい。人口流出の課題を解決してほしい。実施計画に廃校計画を加えてもよいのではないかな。

回答者	教育課長
使わなくなる校舎についても避難所になっているので、町で検討していきたい。その他、意見として承る。人口流出についても町で検討していきたい	

質問 13	
質問者	第二学区 男性
敷地がなぜ響ホールの南側（実際には候補地の西側）ではなく北側なのか。地層など問題はなかったはず。下世話な質問だが、外圧などかかったのか。全くフリーな状態でこうなったのか。このご時世、地権者は反対しないと思う。単価的にも反対しないと思う。三角地は北側の中に含まれているのか。	
回答者	課長補佐
検討委員会では、浸水区域、響ホールとの関連性、中学校との連携なども考え、この周辺ではここが一番適地ということになった。この三角地は狭いので含んでいない。	
回答者	教育課長
実施計画の P4 にも図があるが、浸水想定区域が載っているが、そういったところも考慮して北側とした。	